

7 科目体系

授業科目の履修方法、履修順序、卒業要件及び授業科目設置年次の詳細を以下に示します。ただし、都合により、授業科目設置年度が変更される場合があります。

【総合教育】

1 教育目的

総合教育では、1年次生から大学生として工学の基礎を学ぶとともに広く豊かな知識を修得し、物事を総合的に判断し得る能力を養います。そして、変化の激しい社会の中にあつて自己の置かれた立場を認識し、心身ともに優れた社会人としての素養と、進展してやまない科学・技術や社会に遅滞することなく対応し、貢献することのできる技術者の育成を図ることを目的に授業科目を幅広く展開します。

授業科目は、教養科目、外国語科目、体育科目、及び自然科学科目の4つの科目区分に分けられており、1年次生から4年次生まで定められた学年次に順次配置されています。

2 各科目の教育目標

① 教養科目

知性・感性を磨き、物事を総合的に判断し得る能力を育みます。また、歴史的・社会的感覚を養い、複雑化する地域社会・国際社会の中で生きていくため、知識と知恵の修得を図る全人教育を目標とします。

② 外国語科目

科学技術の発展は、技術者にとっても国際社会の中で活躍する機会を広げています。それゆえ技術者の育成における英語教育の持つ意味は大きいものとなっています。本学部においては、英語の国際性を考え、英語を継続的に学修できるよう英語科目を1年次から4年次まで配置しています。英語力の向上のみならず、異文化の理解に必要不可欠な国際的教養の修得を目標とします。

③ 体育科目

身体活動の楽しさを体験する中で、健康の保持増進と体力の向上、身体活動を通しての自己形成及び社会的スキルの獲得を目指します。授業における他者との関係づくりは、コミュニケーションスキルを高め、リーダーシップや協働力を養います。また、豊かなライフスタイルを確立するため、生涯スポーツに対する知識と運動文化の意義について理解することを目的として授業（実技・理論）を展開します。

④ 自然科学科目

専門教育に先立ち、工学教育にとって重要な自然科学科目である数学・物理学・化学の確実な修得を図ります。これらの基礎分野を学ぶことにより、科学的な思考力・分析力・構想力を身につけ、複雑に発展を続ける工学の諸分野を展望する洞察力と、科学的探究の基本的方法の会得を目指します。